

市報

感性発信都市



カサガ

平成4年 7月15日号
No.497

春日市役所 〒816 春日市大字下日本E34番地の1 TEL(58)1111

発行・編集 春日市役所企画広報課



20才のステップ、21世紀へシャンプ。
KASUGA CITY
20th Anniversary 春日市制20周年

9月1日から
市役所はすべての土曜日が
休みになります



今までどおり業務を行う施設

市民スポーツセンター・西スポーツセンター・勤労青少年ホーム・文化会館・中央公民館・保育所・児童センター・光町児童館・老人福祉センター・野外活動場・若葉台中央公園テニスコート・埋蔵文化財収蔵庫・民俗資料館・のぼり黒体験広場

市は、6月定例市議会で「春日市の休日を定める条例」および「春日市職員の勤務時間に関する条例」の改正を行い、9月1日から完全週休2日制を実施することになりました。これにより、市の業務はすべての土曜日、日曜日および祝日には行わないことになります。

ゆとりある豊かな社会の実現に向け、労働時間短縮の流れをさらに促進するための完全週休2日制の導入は、国においてはすでに5月1日から導入されています。県下でも、県庁を始め大半の自治体が本年度中の実施を予定し、筑紫地区の4市1町も9月1日からいっせいに実施することにしています。

なお、業務の性格上、表の施設は従来どおり業務を行います。

市民の皆さんのご理解とご協力をお願いします。

参議院議員選挙

7月26日は

投票日

7月26日(日)は、第15回参議院議員通常選挙の投票日です。

選挙は、私たちが政治に参加し、その意思を反映させることで最も重要な機会です。大切な一票をむだにすることのないよう、皆さん忘れずに投票しましょう。

▽投票できる時間は、午前7時から午後6時までです。

▽投票用紙は、選挙区選挙が薄い黄色の用紙に黒刷りで、比例代表選挙が白色の用紙に赤刷りです。

▽投票の順序は、選挙区選挙が先で、比例代表選挙があとです。

▽投票用紙には、選挙区選挙は候補者名を、比例代表選挙は政党等名を書きます。

▽投票当日には、必ず入場券を持参してください。入場券を紛失したときは、投票所係員に申し出てください。



生活と政治をつなぐこの一票

●よく確かめてあなたの投票所です

投票会場図(各小学校体育館)

*投票所入場券に記載の投票場所欄をご確認ください。

第5投票所



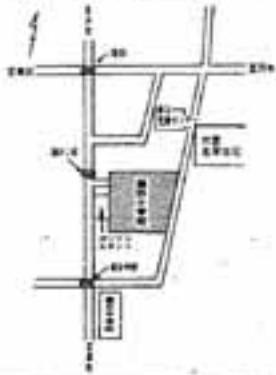
第3投票所



第1投票所



第6投票所



第4投票所



第2投票所



薬物乱用の防止を！

いのちを削るシンナー・覚せい剤

覚せい剤

従来、特殊な世界の人だけに限ると思われていた覚せい剤の使用が、最近は主婦や学生、会

シンナー・覚せい薬

1日相談室を開きます

「保護者自身も薬物の知識を好奇心や誘惑にかられ易い青少年をシンナーなど薬物乱用の書から守るため、その怖さを教育するなど、家庭でのコミュニケーションも大切です。

覚せい剤の中毒は、犯罪や事故、家庭崩壊を引き起こす原因となります。曰く「から「覚せい剤に近づかない」「覚せい剤を近づけない」ようにしましょう。

△子どもを孤立化させない
△過度の放任主義は危険

▽既成社会への反抗
などが挙げられます
しかも、一度手を

近年、シンナーなどの乱用が青少年を中心として急速に増え、大きな社会問題となっています。対策として次のことを心がけ

▽好奇心とあこがれ
▽憂うつからの逃避

シンナー

社員などへ抗がり、すでに一般市民の問題となりつつあります。

卷之三

111

卷之三

六

卷之三

二

三

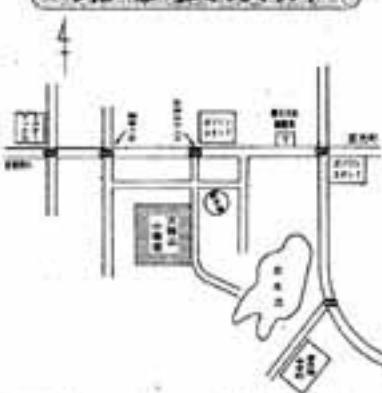
第7投票所



第8投票所



第9投票所



第10投票所



まちの日ユース

古墳時代の壺を寄贈

高齢者大学の陶芸学級生



△何に使ったんでしょうね、この壺？

「新市庁舎に飾ってください」と高齢者大学の卒業生（30人）が、古墳時代の土器・子持ち壺の焼きものを市に寄贈しました。

贈呈式は、5月29日に市長室で行われ、学級生の代表が苦心の作品を白水清幸市長に寄贈。で

きるだけたくさんの人々の目にふれる所に飾ります」と市長がお

礼の言葉を述べました。

壺は、高齢者大学の陶芸学級生が、卒業作品として全員で制作したもの。子持ち壺は古墳時代に子孫の繁栄を願つて作られたと言わされており、「これから市の発展のシンボルである

壺は、高齢者大学の陶芸学級生が、卒業作品として全員で制作したもの。子持ち壺は古墳時代に子孫の繁栄を願つて作られたと言わられており、「これから市の発展のシンボルである」と市に寄贈することになったそ

助かりますね 住宅補修のボランティア

小修理の要望に応えていました。

ひとり暮らしのお年寄りに対して住宅の補修などをボランティアで実施する「福岡労第15回住宅デー」が、6月21日に春日市内で実施されました。この日

この住宅デーは、増改築推進キャンペーン協力事業の一環として行われたものです。補修を

人の職人さんが参加。補修の希望があった市内17の場所で、得意の技能を生かしてお年寄りの

ひとり暮らしのお年寄りには有り難いボランティア活動として、なかなか好評でした。



△仮塗も修理してもらいました

トレーニングルームにエルゴメーター 市スポーツセンター

このほど市スポーツセンター

のトレーニングルームに、新型

のエルゴメーター5台がお目見

えました。

計器類は、デジタル表示で経過時間、スピード、走行距離、ペダル回転数などを選択して表示でき、負荷量を簡単に調整できます。

トレーニングルームは、毎月第3火曜日を除く毎日の午前9時から午後9時30分まで利用で



きます。利用料金は、高校生以上2時間で100円。中学生の入場は、父兄の同伴が必要です。

6月24日、小雨のなか春日西小学校で、下白水地区のグラウンドゴルフ大会が行われました。競技に切り替えたものです。大会には27チーム、200人が参加。日ごろゴルフやゲートボールで鍛えた人もグラウンドゴルフは初めてという人が多く、ゲートをくぐるとホールボストの中に入れるのとホールボ



笑い声の入り交じった、好評の大会になりました。

広報レポーター 堀 稲子

梅雨もあがつて暑い暑い夏がやつてきました。暑い日はとかく食欲も減退しがちです。今日は夏休みの食卓に、お父さんにも喜んで頂けるカルシウムたっぷりのふりかけを紹介しましょう。

今月の
健康料理

「春日には顔になるものがなないと思う。この写真展があるからと春日を見直すきっかけになり、同時に市の顔づくりのヒントになればと思っています」と、市制20周年記念写真展「撮ったまま・見たまま」を主催する春日塾塾長の松本弘樹さん。

事務局に送られた昔の写真は約20点にもなり、この中から約120点ほどを選んで展示する予定だそうです。

春日塾は様々な体験をとおして地域リーダーの養成を目指す組織として、平成3年5月に発足し、現在15人が第1期の塾生として参加しています。塾生の

文化会館で開かれます。あなたも写真展でふるさと春日を見直してみませんか。

職業は公務員や自営業、幼稚園の先生、O.L.、会社員など様々で、19歳から44歳までの幅広い年齢層の人々が参加。市長を講師に呼んでの勉強会や、自分たちでの討論会を行い、今回の写真展も塾の活動の一つとして実施するものです。

6月18日休第1回市政モニターミーティングを開催しました。白水市

形で、市政に対する意見を出し、
ていただくことになります。

市政モニターが
決ま

決まりました

元気いっぱい
おからふりかけ

g (花かつおを煮つて粉にす
る) ▽ちりめんじやこ 15 g
(弱火で少し煎つておく) ▽
スキムミルク 25 g (水大き
じ2でといておく)

② しばらくするとボロボロにほぐれてくるので火を止めて、この中にAと調味料Bを加えて再び弱火で煎ります。

二二
あれ
消費生活相談

アルバイト商法

もうかるのは、業者だけで、アルバイト代以上に出費がかさみ、赤字になる場合もあります。





今日は納期です

固定資産税・都市計画税…第2期
国民健康保険税……………第2期
下水道受益者負担金……………第2期
国民年金保険料……………7月分

自主納付・納期内納付にご協力を!
=納付は便利な口座振替で=

市の人口



総人口 92,208人
男 45,774人
女 46,434人
世帯数 32,783世帯
(6月15日現在)

まちづくりイメージキャラクター
春日ちゃん

期待される男性像
散歩道
宅急便の配達が滞っている。
共働き家庭の増加や主婦のバ
ト勤務の増加などで、家に誰も
いないためだ。首都圏では荷物
を届けるのに平均1・4回家を
訪ねるといふ。女性は家にい
ないもの」という発想で成り立つ
ていたシステムにきしみが出て
いた。

活動など、従来女性が担つてき
きていた。P.T.A.、地域の自治
会、子ども会などの役員、こま
ごまとした家事、ボランティア
活動など、従来女性が担つてき
たものが、パートなどの労働市
場に入手を取られた結果だ。▼会
社からだけでなく、社会からも
期待される男性像としての視線
が、粗大ゴミの臉口に耐え、縱
のものを横にもしないで頑張つ
てきた男性像に注がれている。

何やら背中がムズガユイ(無)

市では、増え続けるゴミの減量化対策の一環として、古紙などの集団回収を行っていますが、中元期における簡易包装も推進しています。

美しく包まれたお中元の商品の中の品物を取り出してしまうば、包装紙はゴミ箱行きとなります。本市では、ゴミの量が急増しており、その中でも紙の占める割合は年々増えています。ゴミの処理には、莫大な費用を要し、平成3年度で1世帯あたり26・295円にもなっています。もちろん、これには税金がつかわれています。

簡易包装は、紙の使用量を抑えることでゴミの減量につながります。

(生活環境課)
お中元の時期を迎え、簡易包装の推進について市民の皆さん
のご理解とご協力をよろしくお願いします。



8月のこよみ

(8月1日~8月15日)

1(土)	
2(日)	第36回会長杯男女バレーボール大会 (スポーツセンター) 県体春日市予選一般女子バレーボール大会 (西オーランセンター)
3(月)	子宮ガン・乳ガン検診 9:00~10:30 (大谷小学校)
4(火)	1歳6ヶ月児健診 (平成3年1月生まれ対象) 13:00~14:40 (文化会館)
5(水)	子宮ガン・乳ガン検診 9:00~10:30 (春日原小学校)
6(木)	不用犬・猫引き取り日 9:30~9:30 (生活環境課)
7(金)	子宮ガン・乳ガン検診 9:00~10:30 (スポーツセンター) 母子健康手帳交付 9:15~9:30 (文化会館) マザーラスク (妊婦教室) 1回目 13:30~15:30 (文化会館)
8(土)	市役所開庁
9(日)	スポーツ少年団8クラスソフトボール大会
10(月)	
11(火)	
12(水)	ゴミ収集休み (14日まで)
13(木)	し尿収集休み (16日まで)
14(金)	
15(土)	精靈送り 17:00~21:00

※市役所は第2・第4土曜日(7月は11日と25日)が休みです。

平成4年7月
同和問題特集

心をつなごう

同和問題の解決のために

春日市
春日市教育委員会



同和問題って何?

部落差別につながる身分制度は、徳川幕藩体制下、人為的な差別分断政策でつくられ、一部の人々が、経済的、社会的、文化的に低位な状態に置かれてきました。

しかも民主主義の時代と言われている今日においても、学校教育、社会教育で同和教育を推進しているにもかかわらずそのことは十分に解消されていないのが実情です。

憲法で保障されている職業選択の自由、結婚の自由、教育の機会の保障などの基本的人権が侵害され、事实上保障されていないという最も深刻にして重大な社会問題が同和問題なのです。

この問題解決のため、1965年(昭和40年)には、同和対策審議会が「同和問題の早急な解決は、国民的課題であり、総合的施策が必要である。」と政府に答申しました。

これを受けて、1969年(昭和44年)7月に同和対策事業特別措置法が施行され、物的環境改善や啓発が推進されました。

そして本年4月には、さらに地対財特法が5年間延長されることとなりました。

福岡県と県内の市町村では、この7月を特に「同和問題啓発強調月間」として位置づけ、毎年さまざまな啓発事業を行い、同和問題の早期解決を目指しています。

差別は、もうなくなったの?

被差別部落問題をとりまく環境は厳しく、就職や結婚時の身元調査によるプライバシーの侵害、戸籍の悪用など、いまだに多くの差別事象が発生しています。

このような事をなくすためには、行政は、教育や啓発事業を一層推進していくなければなりません。

そして、同和問題は、部落だけの問題ではありません。社会全体のあり方、私たち一人ひとりの生き方に関わる問題なのです。

「生まれてきてよかった」と
実感できる幸せな生活を願って

『7月は同和問題啓

身元調査は、しない、させない、許さない！

A君と日子さんは、結婚を誓い合う仲でした。ところが、A君の人柄をとても気にいっていたはずの日子さんの親が、A君の身元調査をして同和地区出身だとわかると、とたんに態度を変えてA君との交際を禁止したのです。

日子さんは人間の値打ちとは無関係の「出身」を理由に結婚に反対した両親にどうしてもしたがうことができず、家を飛び出していました。

興信所や探偵社を使った身元調査では、相手その人の「出身」や「家柄」など本人の責任ではどうすることもできない事柄まで不当に調べられることがあります。

このように、身元調査は、部落差別をはじめとするあらゆる差別を生んでいくことになるのです。

私たちの願い

私たちは、人として時を同じくして、この世に生まれてきました。

お互に幸福な一生を送りたいものです。

そして誰もが、

「健康で長生きがしたい。」

「豊かで文化的な暮らしがしたい。」

「一人ひとりが大切にされる世の中で生きたい。」

という自然な願いを持っていいます。

この願いは、自分ひとりの生産だけでなく、子や孫やすべての人においていつまでもそうあってほしいという願いでもあります。

私たちは、差別を自分自身の問題としてとれず、正しいものの見方、考え方を少しずつ広げていかなければなりません。

また、夫婦を家庭から、そして、地域ぐるみで一緒に懲し合い、人権の大切さを学ぶ、豊かないい風るい社会を築いていきましょう。

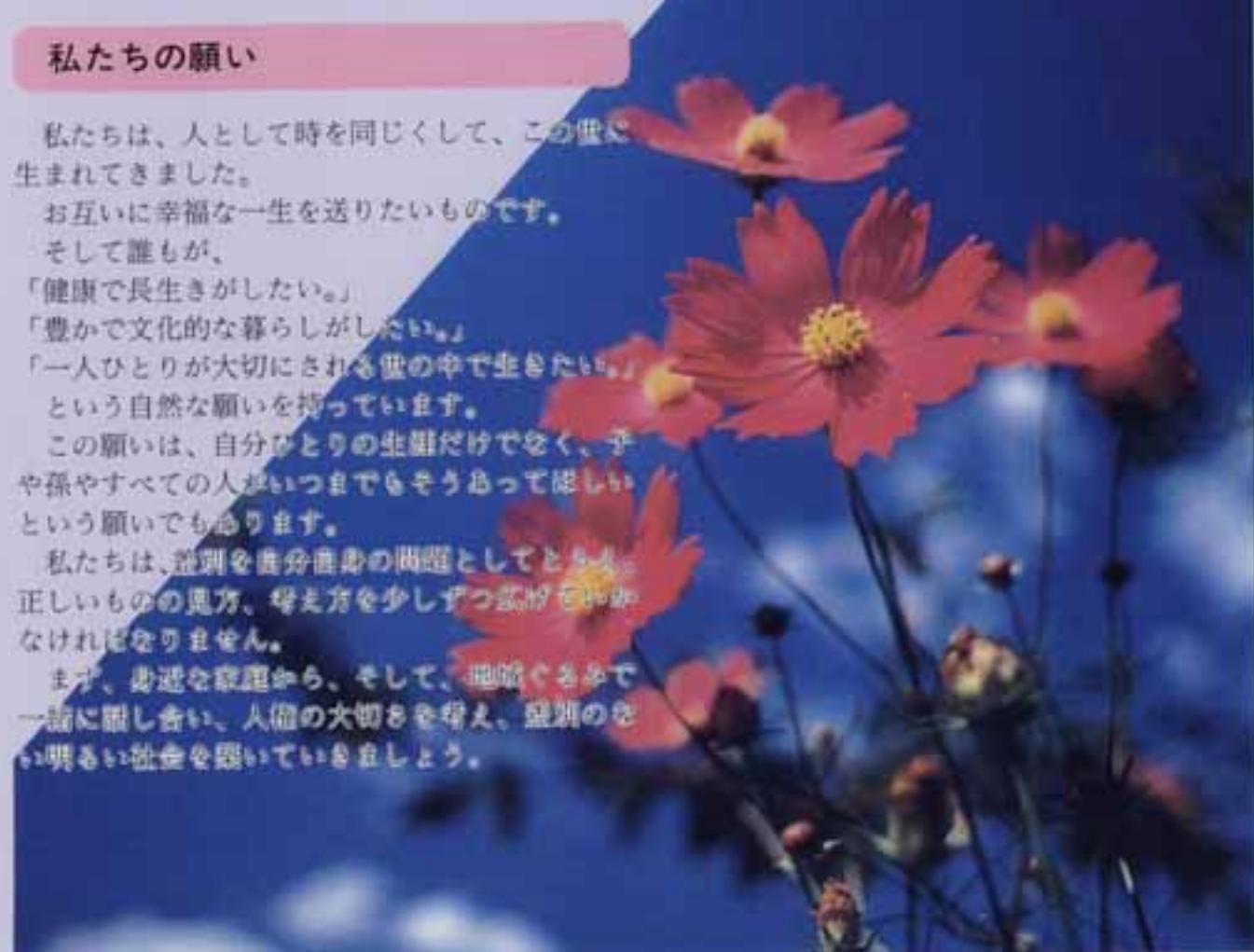
■春日市を含む筑紫地区4市

1町では、差別につながる

身元調査をなくすために、

「身元調査お断り運動」

を展開しています。



強調月間です。人権を守り差別のない明るい社会をつくりましょう。